

浜松観光ボランティアガイドの会

事業部主催「東小学校校外学習 家康の散歩道」同行ガイド

6月11日、8時30分から12時50分まで東小学校6年生63名を対象に校外学習「家康の散歩道」の同行ガイドを行いました。前日の大雨がうそのような快晴に恵まれました。事前学習として5月31日に東小学校ポプラホールにて事業部森部勝義さんが「家康の生い立ち」、橋本彰さんが「家康がなぜ天下を取れたか」をテーマに講義をしています。

出発前に担任の先生から注意があり、児童たちは4グループに分かれ、当会会員13名が各グループに分散して同行ガイドを行いました。

コースは、学校出発→八幡宮→椿姫観音→玄黙口→東照宮→浜松城→鎧掛松→秀忠誕生の井戸→学校着です。

八幡宮では雲立の楠、社殿、句碑等の説明に加えて、神社での作法（鳥居を通る前に一礼、手水舎で口と手を清め、拝殿での賽銭、二礼二拍手一礼等）も一通り教え、実践することで覚えてもらいました。中には熱心をお願いごとを祈っている児童もいました。



八幡宮の手水舎で口と手を清める



浜松城にて元気よく記念撮影

鎧掛松、秀忠誕生の井戸を見学して学校に帰る途中にあるイースタージ浜松タワー前の「からくり時計」を説明したところ、学区内でありながらほとんどの児童がからくり時計の存在を知りませんでした。毎時0分に風揚げのからくりが動くことを説明したところ「僕の家から近いので今度見てみる」と元気な声が返ってきました。

最近、子供が巻き込まれる痛ましい交通事故が多く、街中の交差点での信号待ちの時にも周囲に気を配り、安全第一で引率しました。全員が無事学校に戻ることを見届け、同行ガイドを無事終わることができました。

広報部 春日康治（西ブロック）

椿姫観音では音声案内を聞かせてあげるとの指示が事前であり、そのようにしましたが、狭い場所で音量も小さくて1グループ15～17名の児童は集中して聞いていない様子でした。グループの人数は学校側が決めたようですが、児童を対象とした同行ガイドは1グループ10人以下の方が双方にとって良い結果が出ると感じました。

浜松城では天守閣に入場し、展示物の説明では事前学習を行っているので生徒の理解が早く、多くの児童は熱心にメモを取っていました。展示物の中では「しかみ像」「家康3D像」に人気があり、天守曲輪で休憩中にも児童同士で「しかみ像」に関してのクイズを出し合っていて楽しんでいました。

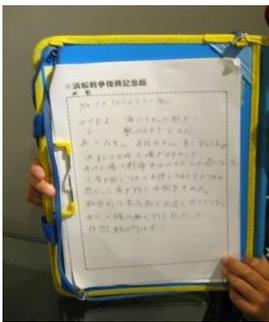


鎧掛松を説明

事業部主催「磐田市立田原小学校 同行ガイド」

6月18日午後、事業部の4人が犀ヶ崖にて田原小学校6年生2クラス計44名と教員2名をお迎えしました。資料館内のビデオ・ジオラマを見るクラスと館外を巡るクラスに分かれての案内が始まりました。児童達がそれぞれ「勾玉(まがたま)」を首から提げているので聞いたところ、午前中に浜松市博物館で作ったと言っていました。火起こし体験や蛭塚遺跡の見学なども面白かったようです。当日は蒸し暑い日でしたが、説明を熱心にメモする子やビデオを真剣に見る子が多くて、その表情は生き生きとしていました。

浜松城に移動。説明ボード前で浜松城の概要を聞き、石垣や天守門の説明を受けた後、城内の展示物を見て廻りました。最上階では涼しい風が吹いていて、遠霞(とおがすみ)の浜松市街や磐田原台地を眺めながら、ほっとした表情を浮かべていました。



復興記念館でのメモ

最後に浜松復興記念館へ移動。副館長の鈴木勉さんによる館内展示物の概要説明を受けた後、各自メモを取りながらの自由見学となりました。

磐田市には広島平和式典小中学校派遣事業があり、全校児童生徒が折った千羽鶴を持って代表が式典に参加するそうです。戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶためだそうです。くしくも、74年前の今日は浜松市街が一面焼け野原になった浜松大空襲の日。夜間、約100機のB29が焼夷弾(しょういだん)を大量に投下したため市街地の大半が焼失し、千人を超える人が亡くなりました。磐田の方からは夕焼けのように見えたと聞きます。まさに、その日に隣の市から大勢の児童が来てくれたことに複雑な思いを抱きました。 広報部 曾布川保(北ブロック)



浜松城説明ボード前で説明を聞く

事業部主催「船越小学校 校外学習」同行ガイド

6月21日、船越小学校の6年生2クラス66名を対象に、校外学習が実施されました。9時、小学生に加えて、保護者25名、先生2名、当会会員19名が体育館に集合した後、事業部長の戸塚正康さんから見学学習の概要説明がありました。8グループに分かれ順次出発です。見学コースは、八幡宮→椿姫観音→東照宮→浜松城→鎧掛松→秀忠誕生の井戸の順です。



礼儀正しく八幡宮の参拝

八幡宮では、最初に参拝の作法を学びました。生徒たちはお互いを観察、注意し合いながら、作法を習得しました。鳥居の形、構造の呼び方などは、各自持参した資料を基に指差し確認です。「雲立の楠」前では、家康が難を逃れたという楠の洞穴を様々な角度から観察し、防虫力を有するといわれる楠の葉のにおいを確かめていました。

10時30分頃東照宮に到着。ここでのハイライトは、家康像、秀吉像の間に立ち、天下取りポーズの撮影です。

11時頃浜松城に登城です。小学生たちは相当に空腹、疲労の様子でしたが、気を取り直し、天守閣の石段を元気に登って

行きました。皆さんの人気は、家康が着用した具足のレプリカ、出陣前の等身大の家康像、江戸時代後期の城下町のジオラマでした。天守台石垣前での「ハート石」探しの際、空腹、疲労などは消し飛んだように走り回っていました。

天守曲輪周辺で昼食後、帰路につきました。秀忠誕生の井戸では、事業部員が「秀忠誕生の井戸といっても、この井戸から生まれたわけではありません」と冗談を飛ばすと、小学生たちが大爆笑で応える微笑ましい姿が見られました。

午後からは雨の天気予報でしたが、雨にも降られず、参加者の皆さんも楽しく学習されたことと思います。

広報部 古本俊夫(南ブロック)



天守台石垣「ハート石」を発見し、撮影

研修部主催 「駿府城跡発掘現場見学会」に参加

6月20日、標題の研修旅行が行われました。参加者は49名でした。

静岡市に着き、先ず訪れたのは県庁別館です。ここの21階、富士山展望台よりパノラマビューを楽しみながら、眼下に青いビニールシートが張られた発掘現場を見下ろしました。

そしていよいよ駿府城跡へ。3班に分かれて、私は第1班で廻りました。発掘情報館でビデオを見た後ガイドさんから展示品の説明があり、それから発掘現場で説明を受けました。

発掘調査は2016年8月に始められ、2018年8月までに、家康の天守台の内側から家康の天守台とは形状の異なる石垣が発見され、南北約37m×東西約33mの天守台であることが分かりました。これは同時代では最大級の大きさです。また、発見された石垣の近くから、文様部分が金箔で装飾された瓦（金箔瓦）も見つかりました。石垣の形状や瓦の特徴などから、豊臣秀吉が、1590～1600年の間に城主であった家臣の中村一氏（かずうじ）に命じて築かせた城であると考えられています（異説もあります）。

この場所は、慶長12年（1607年）大御所家康が天下に号令し、駿府城の大改修を行った際に、もともと存在した豊臣方の天守を解体し、瓦を

埋めた場所だと考えられています。発掘された家康の駿府城の天守台は、南北61m×東西68mと江戸城より大きく、また駿府城の石垣普請に参加した大名らは、目印として石垣に刻印を入れました。現在発見された刻印は26大名のもので、彼らの力を削ぐため財力を使わせる目的があったと思われます。

以後、駿府城は江戸時代には4度の大火災と宝永地震により、天守を含め建物の倒壊、石垣の崩落が繰り返されました。

前後しますが、ちなみに、天正13年（1585年）家康が駿府城築城に着手しますが、その時の遺構は見つかっていないということです。

発掘調査は2020年2月まで実施する計画で、3ヶ年で天守台と本丸堀、4年目は今川期（室町時代）の遺構を発掘調査する予定です。更に発掘を進めていくと、駿府城築城以前の中世今川時代の遺構も出てくるのではないかと、という期待があります。



手前が家康時代の石垣（打込ハギと一部切込ハギ）
奥に見えるのが秀吉時代の石垣（野面積み）



浮月楼の庭園で記念写真

資料館を見学し、駿府城跡を後にして、將軍徳川慶喜が明治2年から20年間の間住まわれたという浮月楼に向かいました。ここは美しい庭園のある徳川幕府の代官屋敷だったところで、窓の下に庭園が見える広間で“慶喜御膳”を頂き、その後、庭園を散策しました。

次の目的地は日本平夢テラスです。あいにくの曇り空で、富士山を仰ぎ見ることはできませんでしたが、展望回廊から、清水港、伊豆半島、南アルプスのパノラマビューの絶景を楽しむことができました。

最後に立ち寄ったのが、藤枝の田中

城下屋敷跡。田中城は、家康が慶長12年（1607年）修築なった駿府城に移って以後、鷹狩等で20回以上訪れた場所です。家康が最後に訪れたのが元和2年（1616年）、田中城で鯛の天ぷらを食べて腹痛と食あたりを起し、駿府城内に帰り、75歳の長寿を全うしたといわれています。

以上、予定した行程を全て終え、無事、浜松に戻りました。研修部の皆様には、数ヶ月前より現地に足を運んで、綿密な計画と準備をしていただき、また途中では細やかで適切なお配慮をいただき、お陰さまで楽しく充実した研修ができたことを感謝いたします。

中ブロック 山内いつ子



史跡田中城下屋敷跡に移設された本丸櫓

訃 報

河合秀忠さん（北ブロック 17 期）が病気のため、6 月 21 日に亡くなりました。（享年 61 歳）
平日は、中学校の非常勤講師に従事されながら、土・日はボランティア活動に取り組みました。
謹んで、ご冥福をお祈りいたします。

新入会員の入会動機

日本楽器のミュージックサイレンを聞き、天林寺の境内を越えて奥山線の踏切を渡り、かまぼこ型の
体育館と元城プールを横目で見ながら、動物園のライオンの唸り声を聞けば、作左山に到着。

今は懐かしい 50 年前の私の中部中学校への通学路です。その思い出深い浜松城公園で、数年前から
健康寿命都市ランキングアップに貢献するために、ウォーキングを始めました。時には観光客の皆さん
と一緒にボランティアガイドさんのお話を聞いたり、迷っている人への道案内などしている内に、そう
だ！自分でもボランティアガイドやらまいか〜と思い立ち、応募をさせていただきました。幸いにも毎
回天守曲輪での休息タイムのおかげで、顔見知りのメンバーさんも多くおられて心強く思っています。

これから楽しみながら、政令指定都市幸福度 No1 の魅力を伝えられるように頑張りたいと思います。

西ブロック 飯尾 隆

6 月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、
この 3 箇所他に「浜松駅観光インフォメーションセンター」や「家康の散歩道」同行ガイド、各
種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

複数回来場のあった団体		
* クラブツーリズム	10 回	414 名
* 阪急交通社	11 回	361 名
7 日 金 泉小学校		93 名
	浜松いわた信用金庫	89 名
11 日 火 新津小学校		134 名
	浜名小学校	110 名
	東小学校	65 名
14 日 金 上島小学校		151 名
	浅間小学校	93 名
18 日 火 三方原小学校		120 名
19 日 水 与進北小学校		74 名
20 日 木 菟丘小学校		107 名
	神久呂小学校	104 名
	北浜南小学校	65 名
21 日 金 佐藤小学校		67 名
	船越小学校	67 名
25 日 火 赤佐小学校		110 名
	都田南小学校	88 名
	葵が丘小学校	84 名
	伎倍小学校	70 名
	中ノ町小学校	65 名

26 日 水 白鷺小学校	122 名	
	南の星小学校	91 名
27 日 木 和地小学校	192 名	
*	上記以外に 60 名以下の 43 団体	976 名

《犀ヶ崖資料館》

7 日 金 泉小学校	92 名	
11 日 火 新津小学校	103 名	
14 日 金 上島小学校	125 名	
	浅間小学校	96 名
18 日 火 三方原小学校	157 名	
20 日 木 菟丘小学校	110 名	
	神久呂小学校	106 名
	北浜南小学校	83 名
25 日 火 芳川小学校	63 名	
26 日 水 白鷺小学校	76 名	
27 日 木 和地小学校	106 名	
28 日 金 城北小学校	84 名	
*	上記以外に 60 名以下の 14 団体	396 名

《浜松まつり会館》

13 日 木 西小学校	56 名	
20 日 木 津島市民生委員	74 名	
*	日曜対応 (2、9、16、23、30 日)	419 名

はままつ案内人会報 208号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会

〒430-0946

浜松市中区元城町 100-2 (浜松城内)

TEL & FAX 053-456-1303

メールアドレス mail@hama-svg.jp

ホームページ http://www.hama-svg.jp/



はままつ案内人

検索 🔍